

安曇野メディア

クリスマス会・餅つき会

クリスマス会

安曇野メディアクリスマス会を12月22日(月)に行いました。当日は、細萱保育園より2クラス40名が園長先生と共に来所し、この日のために一生懸命練習した「地獄の宗兵衛」と「金のがちょう」の劇を披露してくれました。小さな園児の可愛らしいしぐさや、大きな声で台詞や歌を歌う園児の姿が、我々には大きなクリスマスプレゼントとなりました。



餅つき会

毎年恒例の餅つき会を12月27日(土)に行いました。今年は、利用者の方にも餅つきをしていただきました。普段杖歩行されている方が、昔取った杵柄でとても上手に餅つきをされ、さかんに拍手を受けていました。

お餅は、その場で小さく丸め、お汁粉にして戴きました。利用者の方々からは、「やっぱり、つきたてのお餅は伸びがよくておいしい」といって、お餅をほおばっていました。

白馬メディア・神城醫院

餅つき・門松

餅つき

周囲から「ヨイショー」のかけ声を受けて、男性職員が重い杵を振り下ろしています。手返しをしているのは70代後半の女性。この時ばかりは、腰の痛みも忘れ、背筋がシャント伸びています。つきたてのお餅は、別室で早速鏡餅にしていました。皆さんさすがになれた手つきです。



門松

最近、本格的な門松があまりみられなくなりました。しかし、当施設では、毎年地元のボランティアの方に門松を作って頂いています。

今年は、竹の先端部の切り口に関することをはじめて知りました。竹の切り口は、斜めに切った「そぎ」と、真横に切った「寸胴」の2種類があるそうです。「そぎ」の場合、切り口に節が現れるように斜めに切ります。これは笑った口を意味するようです。今までそんな事考えてもいみませんでした。そう言われてみると竹の先が笑った口に見えるから不思議です。「門松は冥土の旅の一里塚めでたくもありめでたくもなし」と歌にも詠まれています。今年も笑顔で一年を過ごしたいものです。



いつも優しく

いつも優しく

院歌・記念歌

特別医療法人
城西医療財団 理事長・総長 関 健



目次

- 「理事長・総長」 . . . 1
- 「ミサトピア小倉病院」 . . . 2
- 「豊科病院」
「城西病院」 . . . 3
- 「安曇野メディア」
「白馬メディア・神城醫院」 . . . 4

研修医として当院に来る若手の中には医師としてのみならず、優れたタレントの持ち主がいる。昨年同時期に研修したK君(安曇野赤十字病院)、F君(相澤病院)とA君(順天堂大学)は共にピアノの腕が立つ。クラシックの楽曲を奏することは勿論のこと、即興でも弾く。K君とF君の演奏はじかにこの耳で聞いた。ことにK君は、バリトンの美声の持ち主で、その歌う声も聞いた。精神科医志望であり、4月から後期研修(専門医研修)にはいる。精神科にとって願ってもない人材である。

白馬の施設を作ったとき、私は「いつも優しく」という歌を作詞・作曲した。歌詞は、財団の「115年史」に採録したのでご覧になった方もおられるであろう。一応四季を謳っているが、新緑の季節に始まり、2番が夏、転調して3番が秋、また元に戻って4番が冬、5番が春といった構成である。全体にシャンソン仕立てにしたつもりであるが、この中のメロディーの一部にシャンソンの名曲「枯葉」のさわり部分を借用した。著作権を侵すといったほどのものではないと考えるが、これによって歌全体が引き締まった。かつて七つの鐘を開設した際にも「小倉の四季」なる歌を作ったことがある(「115年史」に採録)。このときは、「ウルトラセブン」のメロディーを一部アレンジして使った。「小倉の四季」は、私のピアノの先生であった岩槻先生にお願いし、その御紹介で、ピアノ伴奏のアレンジをしていただき、譜面も戴いた。「いつも優しく」もピアノ伴奏のアレンジをどなたかをお願いしようと思っていたが、つい忘れて年月が経ってしまい、公表できずにいたが、K君にお願いしたところ二つ返事で了解してくれ、間もなく演奏テープ付で出来上がると思う。4月頃にはお披露目ができるだろうと考えている。なお、ミサトピア小倉病

院のために作った「ミサトピアンワルツ」(「115年史」に採録)は、A君にピアノ伴奏譜をお願いしてあるので、間に合えば一緒にお披露目できるだろう。

「いつも優しく」 作詞・作曲 関 健

1. かたくりの花の咲く頃
私はあなたに出会った
岩岳の坂をマウンテンバイクに乗って
初夏の風を連れて駆け下りてきた
すすしげな目をして私に近づき
そつと手を握りしめて笑った
いつも優しく いつも優しく
いつも優しく いつも優しく
微笑み返してください
2. ジャンプ台の見える窓辺
あなたと私は語らふ
萌え立つ緑があたりを別世界に変へ
ここに居る幸せが胸にあふれる
あたたかな手を添へ私を包めば
やすらぎがじんと広がっていく
いつも優しく いつも優しく
いつも優しく いつも優しく
傍に寄り添ってください
3. 夕日がつくる秋楡の木のシルエットが風にゆれて
散歩道に舞い落ちた枯れ葉を踏みしめて足を進めると
遠い昔に聞いたシャンソンの調べが甦へてくる
淋しげで 人恋しく 心に沁みる歌が甦へてくる
やがて秋が終り雪が降り始めるとも皆眼につき
人も皆しまの中で夢路遙かに思ひ出をたどる
4. アルプス風の荒ぶ中
あなたはバジエロに乗って来た
服の雪を払い冷たい息を整へ
約束の時刻に扉を開けた
待ち侘びた私の身体を抱きあげ
ほつれた髪を指で撫でつける
いつも優しく いつも優しく
いつも優しく いつも優しく
心に留めてください
5. 私の人生の旅路で
あなたと出会ってよかつた
美しく響く聞きなれた声に誘はれ
命の炎熱と甦へる春
あなたの姿はらぬ支へがあれば
明日への生きる力漲る
いつも優しく いつも優しく
いつも優しく いつも優しく
見守りつけてください

いつも優しく いつも優しく
いつも優しく いつも優しく

特別医療法人 城西医療財団

〒390-8648
長野県松本市城西1-5-16
TEL 0263-33-6400
FAX 0263-33-9920



ホームページ
<http://www.shironishi.or.jp>

ミサトピア小倉病院

クリスマス会

12月20日(土)に病院行事のクリスマス会が行われました。患者さん162名が出席し、患者さんのご家族も来院され、大勢の方にご参加いただきました。昨年までは、ほぼ1日を費やす行事でしたが、今年は午後のみ開催で初の試みとして、演歌歌手の南新一さんを迎え、歌謡ショーを上演しました。大御所北島三郎さんのお弟子さんで、地元松本市出身の歌手です。施設での上演が多く、握手をして回ったり、テレビでしかお目にかかれないステージ衣装なども興味深く見入っていました。そして、一緒に唱歌を歌ってくれたり盛り上げ方が上手くまた、患者さんも受け入れやすいジャンルの歌で途中退席される方も少なく、プロの歌手と直に触れ合うまたとないチャンスに大喜びでした。普段テレビで歌番組を見るような雰囲気味わい、生歌を最後まで楽しんでいる様子でした。



ソングの衣装を着て歌に華を添えました。患者さんは、大きな声で楽しそうに歌われていたのが印象的でした。

ここでサプライズがあり、患者さんのご家族から千代紙で作られたきれいな小物入れを全患者さんにクリスマスプレゼントとして頂きました。お部屋に飾られた方や早速小物を入れた方もいました。この場を借りて御礼を申し上げます。今年も恒例のクリスマス会が終わり、病院として平成20年を締めくくる最後の行事でした。携わった方々はご苦労様でした。

今年が良い年でありますように。



歌謡ショーの終了後は、今年は1-3病棟と、2-3病棟より、発表会がありました。1-3病棟は職員のキーボードに合わせて『上を向いて歩こう』と『赤鼻のトナカイ』の歌を患者さんのリードボーカルで見事に歌い上げました。数名はサンタの衣装を着て堂々と歌い、クリスマス気分を盛り上げてくれました。

2-3病棟は職員のハンドベルに合わせて患者さんがホワイトクリスマスとジングルベルの歌を披露しました。ハンドベル演奏の職員はサ



豊科病院

クリスマス会

豊科病院行事「クリスマス会」が12月19日(金)に病棟ごとに分かれて行われました。

D病棟では、患者さんの中から実行委員会が組織され、1ヶ月ほど前から、企画や準備が始まりました。自分から立候補された方、是非引き受けてもらえないかと頼まれて委員になった方、といきさつは様々でしたが、5人のメンバーが互いに知恵をしばりあって、会場配置やプログラムを決めました。

いつもお世話になっている看護スタッフや職員に出し物をお願いに行き、紙芝居を借りに

図書館まで出かけたり、空き時間を見つけては看護スタッフと一緒に飾り付けを作ったりと約1ヶ月に渡る準備期間はとても意欲的でした。いつもは、発案はしても、準備は職員に任せきりになることが多かったのですが、この日は会場の設営も、「俺、高い所が平気だから暗幕はるよ」と、昼食後の休憩時間を使って行ってくれました。

司会をする人、紙芝居をする人、ゲームの進行をする人、音響係り、と皆で手分けをして様々な役割をこなしました。また、フルート演奏を堪能したり、劇「マッチ売りのおねえ」を楽しみました。この劇は、病棟の看護スタッフによる創作劇で、今回は未完で終わり、続きは来年のクリスマス会で披露してもらえることになり、来年に楽しみが1つ増えました。

D病棟は、療養型の機能を持っており、長期入院を余儀なくされている方も少なくありません。入院以前に体験したかもしれない簡単な催し物の企画・運営作業を行いつつ、自信を取り戻したり、人と関わる喜びを思い出し、単調な生活に彩りが加わるよい機会になるといいと思いました。



城西病院

クリスマスコンサート

今年で3年目を迎える恒例行事となった堀六平さんを招いての「クリスマスコンサート」が、12月20日(土)に城西病院第8ビル3階で催されました。城西病院に入院中或いは通所をしている患者さんを対象としたレクリエーションです。

コンサートでは、馴染みのある童謡・唱歌を中心に歌われ、患者さんたちが一緒に口ずさみ、手拍子をしながらかわい時間過ぎていきました。歌の合間に入るお話も、六平さんの人柄を感じさせる楽しく温かい内容で、時には方言を交えながら患者さんに語りかけられます。そんな楽しいお話を皆さん笑顔で相槌を打ちながら聞いていました。予定されていた1時間のコンサートは今年も大好評でした。

これから多くの皆さんに喜ばれるようなレクリエーションを企画していきたいです。

